

株式会社ピーシー・ブレイン 047-311-6677

今月のメニュー

- 今月のトピック
検索エンジンの登録状況が更新されました
- 活用講座
ホームページの更新
- ワンポイント解説
「被リンク」
- お知らせ
低コストで売上アップにつなげるホームページ

ホームページ活用講座 ~ ホームページの更新

- ◆ 更新の悩みはつきない
- ◆ 対応が悪いのは
- ◆ 更新には費用がかかる
- ◆ ちょっとした工夫
- ◆ 更新費用を抑えるために
- ◆ ツール・サービスの活用でらくらく更新



このところ朝晩の気温もだいぶ下がってきました。風邪気味だったり体調を崩している方も増えてきているようですが、みなさんはいかがでしょう。

こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。

これから定期的に、ホームページの活用方法を中心とした「WEBマーケティングのヒント」というタイトルで、お役に立つ情報をお届けいたします。



今月のトピック

■検索エンジンの登録状況が更新されました

この10月は、Yahoo!、Google といった大手検索エンジンの登録状況に大きな変化がありました。

具体的には、Yahoo!は YST と呼ばれる独自の検索システムの更新を行い、検索エンジンに登録されている内容の書き換えを行っています(インデックスの更新)。これによって、いままでとは検索結果に表示される順位が変わってきています。

また、Google はページランクと呼ばれる指標の更新を9月の後半に実施しています。

ページランク(PageRank)とは、Google がホームページの評価基準の一つとして利用しているもので、0~10で表されます。10がもっとも高評価なのですが、国内では慶応大学が9で最上位となっています。

こういった検索エンジンの登録状況の更新が実施されるたびに、スパムと呼ばれる小

手先の SEO 対策で検索順位をあげているホームページには検索対象から退場させられるなど厳しい措置(ペナルティ)がとられてゆきます。

地道な対応の繰り返しになりますが、基本的な対応をしっかりとしておく分には問題がないどころか、着実に順位アップにつながります。

検索エンジン側の対策は日進月歩ですので、気にしておきましょう。

ホームページの更新の悩みはつきない

ホームページに関しては、いろいろな相談をいただくのですが、最近特に耳にする機会が多いのが、「ホームページの更新」に関する悩みです。

■更新にまつわる悩み

- ✓ いままで業者に頼んでいたのだが、対応が遅くて我慢の限界だ(-_-)
- ✓ 担当していた社員が辞めてしまっただけで、かつ一時的な状態
- ✓ さすがにまずいので何とかしたいのだけど...
- ✓ いざ自分で更新してみたら、なんだかグチャグチャに...

元に戻すこともできなくて困っています

みなさんホームページの成果を上げるために、更新した方がよいことは理解しているのです。

実は、この更新という作業、ホームページを作ったあとで、もっともつまづきやすいところなのです。

■思ったように対応してくれないのはなぜ?

身近にホームページに詳しいスタッフがいたら別でしょうが、多くの場合は業者などに依頼していることが多いよ

うです。

ところがホームページ制作者は、新規作成やリニューアルといった、まとまった作業があるときにはしっかりと対応してくれますが、更新のような少ない作業には熱心ではありません。おまけという感じで初期制作に比べるとどうしても優先度は低くなります。頼む側は急いで対応して欲しいと考えているのですが...

そもそも最初にホームページを作ったからという理由だけで引き請けているケースが多く、更新代行を積極的に対応しているところは多くないのです。



通常の店舗では、店内の商品陳列やポップ作成を全部業者に丸投げしていたら、お金がいくらあっても足りません。また、売れ筋や季節の変化にあわせて、店員自ら色々と店内を変更して、始めて売上アップに繋がります。ホームページも同じです。

ホームページの更新はお金がかかる

もっとも、多くのホームページオーナーは、コンテンツの更新をほとんど行いません。

これは、そもそも「**そういう意識がない**」というも理由の一つですが、もう一つ忘れていけないのは、「コンテンツの更新にお金がかかる」という理由です。

実はホームページで一番お金がかかるのは、「**月々のコンテンツ更新費用**」なのです。

例えば30万円くらいでホームページを開設した場合、実店舗の店内を変更するのと同じようなペースでコンテンツの更新を行うと、月々「5万円」くらいのコンテンツ更新費用が必要になります。

1ヶ月に「5万円」ですから、1年だと「60万円」。しかもこれが、**未来永劫**に続く訳です。

つまり、ホームページで一番お金がかかるのは、最初の「**制作費**」ではなく、毎月の「**更新費用**」なのです。

でも多くのホームページオーナーは、これだけの費用が出せないで、コンテンツの更新をほとんど行いません。

実店舗で、新装開店してから「**店内を全くだいじらない**」という事はありえませんが、ホームページではそんな状態が少なくないのです。

その結果、ホームページがちっとも商売に貢献しない、という状況になってしまうのです。

更新を頼むときのちょっとした工夫

ホームページの更新は、頼む側が想像している以上に、それを引き請ける側は手間がかかると考えています。

私たちも「**更新代行**」というサービスは提供しているので、事情はよく分かります。

最初にページを作ったときに比べて思った以上に料金が高いと感じたことはありませんか？

実は、ちょっと工夫で料金を抑えることができます。

更新を業者に頼む側は、せっぱ詰まっていた急に慌てて頼むことが多いのですが、これを改善すれば良いのです。

「**更新の計画をたてて、あらかじめ準備をして、その内容を伝えておく**」

日記でもない限り、その日のうちに思い立ってすぐに更新

しなければならないコンテンツ(ページ)は、そう滅多にありません。

サービスの告知、キャンペーン、どれも事前に計画されているものです。

余裕を持って準備しておけば、それだけで業者に「**特急料金**」を追加請求されることはなくなります。

更新費用を抑えるためには・・・

更新代行を利用していると、だんだんとその**費用**が気になってくるものです。

1度だけでなく、**継続的に**必要なことなのでなおさらです。

更新を依頼する際には、先に説明したようにあらかじめ計画しておけば、**多少**は費用を抑えることはできます。

でも、業者に依頼している以上はどうしても**限度**があります。

かといって更新を止めてしまうと、**商売にまったく貢献しない**ホームページになってしまいます。

ではどうするか。ちょっと考えてみてください。

今まで頼んでいたことを自分でできたかどうか。もし「**自分**」でホームページの更新を行えば、「**月々5万円**」の費用がかかりません。

実店舗で定期的に店内の見直しを行うのと同じように、ホームページのコンテンツを見直しするという考え方もできるわけではありませんか。

ツールの活用・サービスの活用でらくらく更新

■ツールの活用

私たちがよくお勧めしているのは、以前にメルマガでもお伝えしましたが、Adobe 社の **コントリビュート** というソフトです。

<http://www.adobe.com/jp/products/contribute/>

見た目、使い方は Word のようなワープロソフトと変わりませんが、**プロが利用するツールとの相性が良い**のが特徴です。

更新したいページを開いたら、あとは、文字を打ちなおしたり、削除したりと、ワープロ感覚で操作できます。HTML を **直接編集する必要がない**ので、グチャグチャになってしまうことも基本的にはありません。かんたんに使いたい方にはオススメです。

■更新サービスの活用

いまあるホームページをそのまま更新したい場合は、先に説明したようなツールを利用するのが簡単です。

その一方、**リニューアル**を考えている、商品別・サービス別のホームページを**新規(追加)**に作りたい、のであれば、**更新システム付きのホームページサービス**を利用するという方法がもっとスマートです。

更新システムとは、近年爆発的に普及した「**ブログ**」のようなか

んたんな操作でページの追加・更新ができるものです。

ブログは最近では、**社長日記**などで目にすることや、個人的にも作られている方もいるかと思います。

更新システム付きのホームページの使い方はかんたんで**専門スキルは不要**です。普段メールを使い慣れている方なら、そのままの感覚で問題なくページの追加・編集の操作ができます。

ページはタイトルを入力し、本文欄に掲載したい情報を入力するだけの簡単な操作です。画像の挿入も、メールで添付ファイルを送るときと同じ感覚です。

企業用のホームページサービスには、このような簡単に使える更新ツールだけでなく、反応を集めるための**フォーム**や **SEO 対策**が**利きやすい**機能が追加され実践的になっています。

ホームページ業者に丸投げしては、お金がかかる割には、ちっとも良いホームページはできません。ホームページのコンテンツ変更は、本当のことを言えば、商品や会社のことを一番良く知っている**あなた自身が行うべき**なのです。

別にプロのような「**高度なテクニック**」を駆使しなくてもホームページは更新できます。ワープロレベルの知識でも十分にコンテンツ制作は可能なのです。

ワンポイント解説

「被リンク」

今回は、SEO 対策でもよく見聞きする「**被リンク**」について説明します。

「**被リンク**」というのは、外部(異なるドメイン名を持った)のホームページからリンクされている様子を指します。このリンクの数のことを**被リンク数**と呼びます。

よく「**被リンク数は多い方が良い**」ということを耳にするかと思えます。たしかにその通りです。

自分のホームページの被リンク数を知りたいですね。

これは検索エンジンを使ってかんたんに調べることができます。

検索窓に、「**link:調べたいホームページの URL**」と入力するだけです。

例えば、当社の場合には、

`link:http://www.pcbraint.co.jp`

と入力します。

ただし、この方法はあくまでも簡易的な方法です。

ここで表示されるのは、実際に検索エンジンが**認識しているリンクの一部**だけです。

特に Google は、極端に差があります。(詳しく知りたい方は**ウェブマスターツール**を利用して調べられます)。

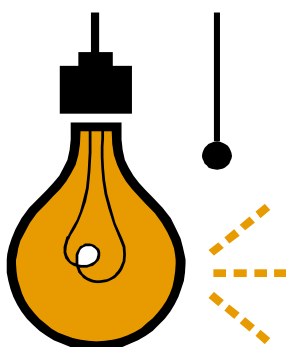
なお、被リンクは **SEO においては対策のひとつ**ですが、単純に数が多ければ OK かというと、それほど単純ではありません。

リンクの評価は、**数**だけでなく、「**質**」も対象となります。

例えば、一般人の個人日記からリンクが張られている場合(被リンクをもらう)と、大学のホームページからリンクされている場合とでは、後者がより**高評価**となります。

日常のコミュニケーションでも、有名人・著名人のお墨付きによって評価が高くなるのと同じ理屈です。

仮に多くの被リンクを買ってきても質が低ければ効果は期待できないのです。



株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号
047-311-6677

Fax
047-311-6678

E-mail
info@pcbrain.co.jp

営業時間:
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リニューアル
- WEB システム開発



当社 Web サイト

URL:
<http://www.pcbrain.co.jp>
<http://www.webquick.jp>



お知らせ

■低コストで売上アップ！ 役立つガイドブック提供中

◇自分で更新できる企業ホームページの作り方

更新費用を抑えつつ売上アップにつながるホームページの作成方法が分かるガイドブックを無料で提供しています。A4 ページ2段組で 41 ページ、単行本にすると一冊に相当するだけのボリュームです。経営者に必要な「ホームページ活用のエッセンス」をこの中に凝縮していますので、ガイドブックを一冊読めば、他の書籍を読む必要はありません！

このガイドブックを手に入れることで、

- ✓ 対応の悪い業者につきあい続けて、高い更新費用を請求されることがなくなります
- ✓ 自社のホームページが、なぜ商売に少しも役に立たないのかを知ることができます
- ✓ ホームページを自社のビジネスにどう活用すればよいのか、ストーリーがイメージできます
- ✓ ホームページの反応率をアップするためのポイントが分かります
- ✓ アクセスアップのポイントが分かります



いまならこのガイドブック(製本版は有料:1500円・税込・送料込)を無料でプレゼントしています。

ご希望の方は、弊社担当者にご連絡いただくか、次のページからお申込みください。



<http://www.webquick.jp/c/guidebook.html>

他にも以下の役に立つ情報冊子を用意しておりますので、必要に応じてご請求ください。

- ◇自分で更新できる SEO 対策
- ◇集客ホームページ作成講座(基礎編)
- ◇ホームページ関連サービスのご紹介



あしがき

このところ新サービスの立ち上げに関連して今までにないくらいたくさんの方の文書を書いています。いままではどちらかという聞かれたことについてはしっかりと説明するという対応の仕方だったのですが、多くの体験・経験がありますので、それをお伝えしてゆくことにしました。今回のニュースレターもそのひとつです。慣れるまでは思っていることがうまく伝えきれないかも知れませんが、どうぞお付き合いください。

ニュースレターを読んだ感想、取り上げて欲しいテーマなど、ぜひご意見をお聞かせ下さい！

→ FAX:047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳
〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F



TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp